

ロータスルート さあ、つながって行こう!! みんなで花を咲かせよう!!



<http://www.myohokkein.jp/>

2023年(令和5年)5月27日発行
「ろおたす」からの〜通算418号

Vol.37

日蓮宗

正中山別院 護国山妙法華院

〒652-0816 神戸市兵庫区永沢町4-5-8
TEL(078)575-2608 FAX(078)577-7651
kobe@myohokkein.jp

Spirit

もう一人の自分を 呼び寄せる

私の中にもう一人の私がいる
普段は気づかないのに
フットしたときに感じる
いつも落ちつく瞬間
迷う私を救ってくれる
それは仏さまなのかも知れない……



すずめの気持ち

2023年1月6日(金)

謹賀新年 今年もよろしくお願い致します。お正月に新海誠監督の「すずめの戸締まり」を見てきました。神道の岩戸の扉をモチーフに震災を描いた映画でしたが、被災体験のある人にはちょっと苦しい場面もありました。色々な要素がちりばめられていて、昭和アニメ漫画しか知らない私には、美しく素晴らしい衝撃的な映画でした。私達の負の心が、集まって巨大なミスとなって地震を引き起こす…表現の仕方は違うけれども、立正安国論の内容と同じだと思いました。感動を引き起こし、映像で表現出来るエンタメはちょっと羨ましいです。



大谷翔平選手の話

つい先日のWBCをご覧になりましたか。大谷選手やヌートバー選手を見ていたら判ります。根っからの性格が明るくて良い運気を引き寄せて大活躍しましたね。その向上的な運気にチーム全体が引っ張られて優勝を手に入れました。各選手一人一人の努力があつたのことは言うまでもないと思

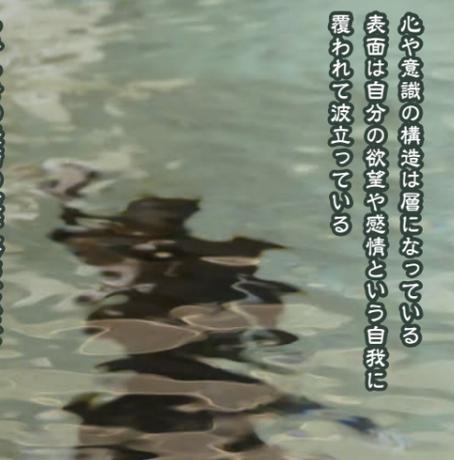


プラス思考の人 その1

ますが、その努力だけではない、何か人間の秘めた大きな力と気運を皆さんはお感じになりませんでしたか。

しかしその表面の波が落ちてきて深く入っていくと穏やかな心が現れるそこには物事を冷静に見つめ客観的に判断できる、もう一人の自分がある

心や意識の構造は層になっている表面は自分の欲望や感情という自我に覆われて波立っている



インキデキナイムインキ

もう一人の自分の更に奥底を覗くと、自分では自覚できない無意識の世界が広がっている。この力の波動は強く、意識の世界に多大に働きかけている。それを自分で意識的に変えるのは非常に困難である。しかし変えることが出来れば貴方の人生は必ずや拓ける。

無意識の世界には、私たち人間としての本質的な部分が宿っている。性格や人柄を形成し、言葉遣いや行動パターンそして癖もすり込まれているので、普段の何気ない行動に自然と表れ、それは個性と言われる。無意識世界は極端に示すと陽と陰、ポジティブとネガティブ、仏と地獄という特性を持つ。そしてこの無意識には波動があり、同じ性質のものを引き寄せあうという特徴がある。

気の合うもの同士が集まって友達は形成され、長年の夫婦や家族が似てくるのも波長が合うからである。それは人同士だけでなく環境や気運というものも引き寄せあうので、無意識レベルでポジティブになると貴方の周りには自然と良い運気が流れる。

ココロハマイナスノワタン

ところが私たち普通の人間は、この無意識の中にマイナス的思考が毎日すり込まれている。日々見聞きする報道は圧倒的にネガティブな話題の方が多い。ウクライナ戦争・トルコの地震、コロナに詐欺や政治・景気の問題、殺人事件に悲惨な事故等。周辺の情報は、いつも暗いニュースで溢れかえっている。サブリミナル効果で私たちの心は、知らず知らずのうちにネガティブ要因が長い年月をかけてすり込まれ、不安・恐怖・自己否定等が、無意識レベルで働いてしまい、本来の能力がなかなか発揮できなくなっている。肉体的な能力だけではなく、直感や想像・発想力を減退させ、精神的能力も萎縮させる。あらかたの人間は生涯で、潜在能力の数パーセントしか使わずに人生を終えている。



お釈迦様の言いたかった事は何？
手のひらを合わせる「じに」
意味はあるのか
いつも揺れている心の中
私はどこから来て何処へゆくのか

Conduct

ムツゴロウさんの話

先日お亡くなりになった畑正憲さんも心底陽気な方でしたね。あれだけ動物と親しくなれるのは、動物に噛まれるだとか襲われるとかの恐怖や不安が心には一つも無くって、それが向き合う動物にも波動として伝わっている。だからこそ、どんな動物も安心して心を開いている。

仏教的な考え方でいうと畜生界の中にある動物の仏心と、ムツゴロウさんの仏心が呼応し合っている姿が、あの「ゆかいな仲間たち」という番組になっていたわけです。「よ～よしよし」



プラス思考の人 その3

オテラノヒミツノルーティン

私は昔から強制的にやらされていた。暑い日も寒い日も毎日、水行をして素肌で水の冷たさや気温を感じる。見えない神仏に対し毎日お給仕を行う。日天子を拜んで朝日を浴び、ろうそくを灯して、良い香りの線香を焚いて読経する。知らず知らずのうち、心の中のネガティブ想念を消していく作業が習慣になっていたのである。若い頃は全て嫌々やっていたのに、今は朝勤が楽しいと思えるようになってきた。住職になってからは寺の掃き掃除も自ら加えた。ガリレオ並みに「実にオモシロイ」

「ナル」デナク「マツ」シュギョウ

仏教の中に根付いている修行は、そういう自分の心の中を変化させるもの。座禅や瞑想は「心を無にする」という修行だ」と捉えられている。しかし何か無理やり心を沈めて深い瞑想に入ろうとすると、却って雑念が入る。浄心行や深心行は意図的に瞑想

タノシイオンガクヲ

私たちは人生を振り返った時、成功よりも失敗の方に目が向きがちである。与えられたものより、与えられなかったことに対して不満を持つ。自分の成功体験や気分が向上するのを時々思い出すと良い。一番便利なのが音楽で貴方にもあるハズ。この音楽を聴けば、あの時の興奮がよみがえる、元気が出て気分がハイになる。もちろん逆にこの曲を聴いたら失恋が蘇る…っていうものもあるかも知れない。なるべく良い思い出の曲を定期的に聴いて、気分を高揚させる習慣を身につけよう。

ニチジョウウノコトダマ

言葉は、無理にポジティブな事を言うよりもネガティブな発言をしないように気をつけること。目の前の困難に対し、無理に「頑張る、負けるものか」と言ってみても、心の中で「ダメだろう」という諦めの気持ちが充満しては、発した言葉とチグハグになってしまい、心のストレスは軽減されない。「ダメ・無理・最低・ひどい・しんどい・きつい」等と言わないように気をつけるの方が心のダメージは軽い。世の中は圧倒的に言葉と心が裏腹の人が多く。そういう人は普段から言葉と心が離れているのが慣れっこになっている。日頃からそういう人と私たちは付き合っている、これまた心の負担が毎日生じている。当たり前だが人間には一人一人エゴがあり、誰もが未熟な部分を持っている。家族・親戚・友人・仕事場・お寺での出会いでもそう。様々な場面で人との摩擦や葛藤、ジレンマといった問題に直面する。実際にトラブルを起こさなくても、自分も相手に対し、心と言葉が一致しない状態が積みあがっている、無意識にネガティブ想念は増幅している。本音と乖離し、自分に嘘をついているから、確実に心は深く傷ついている。

ニガテナヒトヲカンガエル

だれしも嫌いな人、苦手な人はいる。相手のどこが嫌いで、何に対して腹が立っているのかを深く考えてみる。「自分勝手」「うそつき」「自慢しい」「見栄っ張り」「自分を馬鹿にする」「いつも上から目線」「話が長い」色々浮かぶ。このように「私はその人の何に引かかっているのか」「何故その人といると不愉快なのか」を考える。実は静かに客観的に考えることは「もう一人の自分を呼び寄せる」行為。それでも相手をどうしても受け入れられないかと思ったりときは、相手の立場にたってみる。そういうふうな考えをみると相手の心情が少しは理解できるようなになる。

コトバヲオキカエル

嫌いな人の名前を言って「○○さん、いつも有難う」と言って下さい。どうですか？心の中では相手の方がまだ嫌いだから、無理に言っても心にストレスを感じてしまう。では「○○さん、南無妙法蓮華経」ではどうでしょうか。お題目なら割とすんなり言葉に出来るのでは無いでしょうか。嫌いな相手でもお題目なら、まだ言いやすくないですか？言えるなら、そのお題目を繰り返すことを習慣にして下さい。そのうちに嫌いな感情が薄れていきます。こちらの心境が無意識の領域で相手を許容できるようになると、不思議なものまで空気で波動が伝わり、相手の態度も変わってきます。心を先に変えるのは困難ですが、言葉を発することは簡単。なるべく抵抗の無い言葉で貴方の心を軽くしていくのに、お題目は最適なものです。どんな相手にも感謝の気持ちを抱き、お題目を唱え続けていると、私たちはいつも冷静でいられるようになり、無意識に心の中のネガティブな想念は薄らいでいきます。それが「もう一人の自分がいっぱい傍にいる」状態なのです。

妙和院日慈上人を偲ぶ

世壽八十五歳

令和5年2月28日、当山に衝撃的な電話が入った。修徳の山崎雅祥師の訃報である。昨年のお会式で、ご主人に逆修法号を授与させていただいた時に一緒に来られ、1月にも星まつりの費用を持ってきて下さった。本山にお元気なされていて当日の朝もご主人と一緒に食事をされたそうで、ご家族にとっても突然の出来事で、急性心筋梗塞であった。

昭和57年得度・昭和59年信行道場は、私と全く一緒で同じ元年生まれというの共通。あえて言えば、私の方が先に師匠に弟子入りしたので、年上だが私にとっては妹弟子という関係。私が住職になった時に職員としては退職されたので、ここ10年ぐらいは檀家さんとは遠ざかっていたとは思いますが、当山では平和委員会の事務局を務めていたので、お寺の法務だけでなく、他団体との活動交流や社会活動に尽力いただいた師でありました。

ご主人と相談させていただいて、山崎家としての葬儀だったこともあり、檀家さんへのご案内と参列は総代と護持会役員のみになさっていただきました。皆さんからいただいたお花とお香典を費せながら、会長と相談してお花とお香典をさせて頂きました。親しかった檀家さんにはご報告が遅れたこととお詫言ひ申し上げます。ある檀家さんにお参りした時に、山崎師の話をしていたら「私、毎年年賀状のやりとりをしてたんだよ」と言われ、私は驚きを隠せずその今年の賀状を見せられました。そこには私の見慣れた字で、こう書かれていました。

年賀状ありがとうございました。お元気で過ごしてのことと思います。私も老いの春をむかえる年齢になりました。今年で満八十四歳になります。まだ現役主婦ですが、いつのまにか老い先の見える年齢になりました。人生百年時代といいますが、足腰だけは丈夫でないと心にかけているつもりですが、元気でいて下さいね。山崎雅祥

口癖のように「私は百歳まで生きる」と言っていたことが、そのまま書かれています。早すぎるやん、有言実行せな。命日は2月28日やね。気をつけませう。ゴメンナサイ。お寺でも位牌を造り、納骨堂で増圓妙道をお祈りします。



おきらく日記 2023年3月21日(火)

トラブル脱出

パソコンが壊れてしまい、このブログも長らく更新できないままでした。原因は Windows10 に、アップデートしたことにより、古いソフトが使えなくなってクラッシュしました。だましまし使っていたのですが、とうとうダメになりました。しかしなんとか、新しいパソコンに新しいソフトを入れて、データを移行できたのでヤレヤレです。新しいソフトを手探り状態で、こわごわ使っている毎日です。

参考文献 田坂広志 『運気を磨く』

